



墨東の学び

学校通信⑨号 11月末号
令和5年11月30日発行
東京都立墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

15日後に待望の「墨東祭」が開幕します！

4月から8か月をかけて積み上げてきた学びの成果を保護者・御家族に発表する場、そして墨東生同士の学び合いの場でもある「墨東祭」が間もなくです。ぜひ御来校ください。

本校舎者スロープ周辺に墨東アートギャラリーを設置、11/27から展示開始！

今月初旬に新装オープンした「墨東オープンライブラリー」&「1階・図書ラウンド」に続いて、本校舎のスロープ1～2階間、2～3階間の壁面に「アートギャラリー（墨東美術館）」を新たに設置し、作品展示を開始しました。御来校の際に御覧ください。（詳細は別途、御案内します）

近年、障害児者の作品はアール・ブリュット（既存の美術潮流に影響されない自由で独創性を含んだ豊かな表現）として注目を浴びています。本校ではアートギャラリーを新たに設けて、生涯学習の基点である学校教育の中で創り出した個性豊かな作品を順次展示することで、お互いの個性ある表現や努力を認め合い、自尊感情を高める機会とすることをねらいとしています。アートギャラリー（画廊）では、展示作品は全て芸術家のプロダクトとして尊重しています。具体的には全作品は額装の上で美術館同様にキャプション（作品タイトル、アーティスト氏名・所属、製作技法）を表示しています。さらに1階のスロープ入口横の柱にアーティストへのメッセージボードを取りつけました。ここには、鑑賞して下さった皆様から寄せられたメッセージカードを掲示していきます。作家である墨東生がこのメッセージに触発され、次作品への更なるエネルギーを生み出せますようにお力添えください。

<方針> 成年年齢引下げに伴う学校としての対応

平成30年6月、民法上で定める成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が成立しました。この改正法は既に1年半前の令和4年4月から施行されています。つまり「一人で有効な契約をすることができる年齢」や「親権に服することがなくなる年齢」が、昨年度から20歳からが18歳となっています。

（あわせて、女性の婚姻開始年齢が16歳から18歳に引き上げられ、結果として男女とも18歳となる等、改定もされました。）明治9年以来、成年年齢を20歳としてきた我が国ですが、近年、公職選挙法の選挙権年齢などが18歳に引き下げられるなど、18・19歳の方にも、政治上の判断に参加できるような流れの中で、民法上でも18歳以上を大人として扱う事が適当との考えが世界中でも主流です。こうした国際状況も踏まえての動きです。

本校では、法律改正施行を受けて以下のように対応しています。

◆満18歳に達した墨東生（主に高3生）については法令上では令和4年4月以降、保護者の同意を得る根拠は無くなっていますが、当分の間、満18歳に達した生徒に対しても、在学中は保護者宛文書、参加同意書、出欠票等の諸文書には、従来どおり、各欄や宛先に「保護者」と記載していきます。

その理由としては、高等部に保護者の出願・入学手続き同意を得て入学された後、継続して養育・監護・身辺生活の介助等をされてこられた保護者の存在は、卒業までの間、欠くことのできない身元引受人であるとの学校判断です。本来であれば既に保護者ではない方を含めた表記としては「保護者等」と記載するところですが、当面はこれまで同様に保護者と記載していきます。万一、保護者と本人の意思が異なる事が判明した時は再度、「本人の意思確認」を行った上で、法令に基づき、「本人の意思を最大限に尊重する」ことを基本としていきます。

<報告> 第2回学校運営連絡協議会を11/28に開催！

外部委員（特別支援教育専門家、関係機関、区教育委員会職員、自治会長）及び保護者代表として本校PTA会長等に御来校いただき、7月の会議以降の学校教育の改善状況や課題を資料説明及び校内視察を通して把握して頂いた上で、それぞれのお立場から忌たなく御助言を頂戴しました。

また、学校評価（児童・生徒評価、保護者評価、教職員評価）の集計結果と分析案もお示しして御意見を頂戴しました。

今後の状況も加味して、1月末の全校連絡会（全教職員参集）の場で、委員を代表して委員長から、ダイレクトに教職員に御提言を頂戴します。

<報告> アートパラ深川での作品展示アクション

10月後半の9日間、諸会場で展開された恒例のアートアクションに墨東生の作品も出展しました。協賛された著名人のアート絵馬とともに願いの込められた個性ある絵馬が展示され、本校高3生もスクールバスに乗って鑑賞に行ってきました。



<報告> 高3生がミラコン東京地区大会で努力賞!

全国の肢体不自由特別支援学校高等部生徒を対象にしたプレゼンカップ「ミラコン 2023」＝社会への提言を5分間のプレゼンテーションの動画にしてエントリーする全国大会の出場権を競う東京地区大会の審査結果が届きました。都立・国立計8校の高等部生の21作品がエントリーし、晴れて城南特支生徒の作品が地区大会優勝者として12/13(水)開催の全国大会への出場が決まりました。社会への視点と説明力・熱意・独創性等が総合評価され、本校生徒には「努力賞」の賞状と記念品が贈られました。(この機会に本校高等部生の率直な思いを知る機会として全校教職員も本提言を拝聴する機会を11/27(月)にもちました。)11/30(木)の全校集会の場で賞状をお渡しし、努力を讃えました。

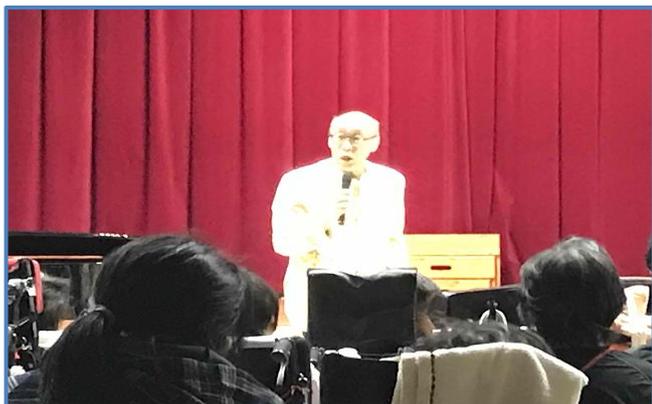
<報告> オペラ「パールギュントの大冒険」上演会!

都教育委員会事業「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の一環として実現となったブルー・アイランド氏(作曲家:青島 広志先生)とテノール歌手:小野 勉さん、ソプラノ歌手:江口 二美さん・横山 美奈さんの4名によるオペラ上演会が、11/29(水)本校体育館で行われました。



プロのオペラ歌手に響く歌声、テレビ出演時以上に冴えわたる青島先生のピアノを弾きながらの解説と進行。午前は小学部、午後は中学・高等部、在宅訪問・病院訪問や分教室の墨東生も、リアルタイム配信を鑑賞したり、録画を鑑賞したりする機会を設け、全墨東生がオペラ鑑賞の機会を得ることができました。観劇を御希望された保護者・御家族約20名もオペラ座のように高みの席から鑑賞されました。

【青島 広志先生の御紹介】



*東京芸術大学及び同大学院を首席で卒業後、作曲家・編曲

家・大学指導者・ピアニスト・指揮者・司会者・イラストレーター・少女漫画研究家としても活躍されているマルチタレント。「題名のない音楽会」や「世界一受けたい授業」等でモーツァルトや全国の校歌についての博識を披露されています。

【都内の公立学校の校歌作詞・作曲の一例】

- ・江東区立第二砂町小学校 (作詞・作曲)
- ・江東区立浅間堅川小学校 (作詞・作曲)
- ・東京都立若葉総合高等学校 (作詞・作曲)
- ・東京都立鹿本学園 (作曲)

<経過報告> 墨東オープンライブラリー活用状況!

11/6(月)全校集会で新たに設けた墨東オープンライブラリー&1階図書ラウンドの完成と使用開始を全員の拍手で祝いました。

学校図書館の利用に慣れながら、読書習慣が身に付く



ように催した「墨東読書月間」(11/6~11/30)の貸し出し状況は、あと数日残す中で、既に貸出冊数が400冊を大きく超えて、それまでの貸出量の10倍近くに迫っています。読書月間の最終的な報告は、別途おこないますが、この嬉しい状況から、更に3学期中に新刊図書を追加できるようにしていきます。



校長 田村 康二郎